キャラクター名: 久遠 英臣(くおん ひでおみ)

プレイヤー名:

シンドローム	ハヌマーン ノイマン	ワークス	UGN支部長C	カヴァー	アーティスト
オプショナル		年齢	30	性別	男性
覚醒	死	衝動	破壊	初期侵食率	34 %
出自	安定した家庭	経験	大成功	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	1	0	0			1
精神	4	1	0			5
社会	2	0	0			2

HP	27
行動値	6
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
レ・メルヂ・マシオウ(戦いの旋律)	ＲＣ	5r+1	8	+13		1+2+3+4
レ・メルヂ・フィナーレ(最終楽章)	ＲＣ	1	7	+43		120↑　1+2+3+4+5+6

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UGN戦闘服	18	7	-1	-1	RC+1

合計装甲：	7	合計回避：	-1

所持品	
携帯電話	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
久遠 可乃子	P 尊敬	N 嫌気		
トリル	P 友情	N 侮蔑		
霧谷雄吾	P 信頼	N 嫉妬		
万木　海椰（PC4）	P 信頼	N 悔悟		
井下 晴陽	P 庇護	N 脅威		
五代 咲紅	P 信頼	N 恐怖		
灯　乱狐	P 憧憬	N 隔意		

最大財産P: 6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト：ハヌマーン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	C値-Ｌｖ(下限値7)							
バランスブレイク	3	2	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ	視界	単体	対決	-	
効果：	+重圧、シナリオ中Lv回							
さらなる波	5	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果：	+攻撃力Lv×2							
振動球	3	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：	攻撃力+Lvの<RC>射撃攻撃。装甲無視							
マシラのごとく	3	5	メジャー	-	単体	対決	80↑	
効果：	+攻撃Lv×10、判定ダイス-5、1シナリオ1回							
神速の鼓動	1	20	メジャー	視界	ｼｰﾝ(選択)	対決	120↑	
効果：	対象をシーン(選択)に変更、１シナリオ1回							
空の楽器	1	-	メジャー	視界	-	自動	-	
効果：	周囲の大気そのものを楽器やスピーカーへと変え、任意の音声や音楽を発生させるエフェクト。							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

◆キャラクター詳細

A市UGN支部長。魔提琴≪トリル≫の奏者。
コードネームの由来は、その超絶的な技巧から「悪魔と契約した」と言われた伝説のヴァイオリニスト、
『ニコロ・パガニーニ』から。本人は「恐れ多い」とコードネームで呼ばれるのは好んでいない。
性格は品行方正で礼儀正しい。動植物を愛し、争いは好まない。
天才的なヴァイオリニストであり、日本のクラシック音楽にその名を轟かせていた。
コンサートの遠征中に乗っていたバスが事故に巻き込まれ、崖下へ転落。
事故の衝撃で偶然にもケースが開き、飛び出したヴァイオリンが胸に突き刺さり半死半生となり、オーヴァードとして覚醒する。
その後、UGNに保護され現在に至る。
自分の性質を汲み、トラブルの少ないA市に赴任させてくれた霧谷雄吾に恩義を感じている。
霧谷とは年齢も近く、親しく接しており、コンダクター(指揮者)と呼び敬意を表している。
趣味は観葉植物の世話。支部長室に置いてある植物には全て名前をつけて可愛がっている。
好きなものは部下が淹れてくれる紅茶。
トリルの鎖が難航しており、その事について頭を悩ませている。

・魔提琴≪トリル≫
　バスの事故で英臣の胸に刺さったヴァイオリン。
　元は両親から送られ、英臣が宝物にしていたもの。
　レネゲイドウイルスが多分に含まれた英臣の血液に長く接触していた為、自我が目覚めた。
　所謂『喋る系武器』である。
　性格は英臣とは真逆で至って下品下劣。